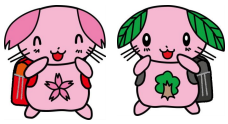
1　昭和小学校　グランドデザイン

学校は児童一人ひとりの成長を保証する場である。そのために教職員は各々創意工夫をこらし、協働のもと、積極的に学校運営に参画 しなければならない。
令和７年度の昭和小学校は、『生きる力』を育むことを目指し、生涯学習の基盤づくりとして「確かな学力」、「豊かな心」、「たくましい体」の調和のとれた児童の育成に向けて全力を尽くす。
学校の主役は子どもたちである。その子どもたち一人ひとりが、笑顔いっぱいの学校生活を送ることが本校のめざす学校である。
そのために、子どもたち一人ひとりに、①やる気（感動）　②元気（感謝）　③根気（達成感）を培うことの３点を重視する。
また、学校の主役は子どもたちに他ならないが、子どもたちを主役にするのは教師一人一人である。
教師が「夢」や「目標」、「使命」と「誇り」を持つことはもちろん、「健康」で「一人一人の個性を大切に」することを基本理念とする。
令和７年度は、「笑顔いっぱい　昭和小！」をキャッチフレーズに、笑顔のあふれる学校をめざす。



学校教育目標

**「自ら学び　豊かな心で
たくましく生きる」子どもの育成**

～　笑顔いっぱい　昭和小！　～

○教育基本法
・伝統と文化を尊重する
・我が国と郷土を愛する
○学習指導要領
○千葉県学校教育指導指針
「生きる力」の育成
・人生を拓く「確かな学力」
・思いやりのある「豊かな心」
・活力あふれる「健やかな体」
・主体的・対話的で深い学び
・発達の段階に応じたｷｬﾘｱ教育
・地域とともに歩む学校づくり

○袖ケ浦市教育ビジョン
「心豊かなたくましい子どもの育成」
・基礎的・基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力等の育成
・規範意識の醸成と豊かな情操や道徳心の育成
・心身の健康の保持増進と体力向上
・一人ひとりの自立を育む生徒指導
・教育相談及び不登校児等への支援
・能力や可能性を伸ばす特別支援教育
・伝統文化や郷土を学ぶ教育

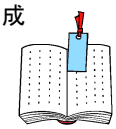
目指す児童像

自ら学ぶ子　豊かな心の子　たくましい子

指導の重点

自ら学ぶ子
【確かな学力の育成】（感動）

①基礎・基本の確実な定着
・発問・板書・ノート指導の充実
・音読、視写、作文、九九の日の推進
・年3回のチャレンジテストの実施
・家庭学習の充実
②思考力・判断力・表現力の育成
・問題解決的の学習過程の推進
・学級活動（話し合い活動）の充実
・学習発表の場づくり
「感動のある体験的な学習」の実践
・教材教具の積極的な活用
③学びに向かう力の育成
・ICTの積極的な活用
・学校図書館の積極的な活用
・総合的な学習の時間の充実



豊かな心の子
【豊かな心の育成】（感謝）

①人間関係づくりの育成
・自ら進んであいさつができる子の育成
・心と体が「元気」な子の育成
・「感謝」の気持ちの意識化
・マナー及びルールを守る子の育成
②思いやりの心の育成
・道徳、読書、ペア活動の実施
・いじめ0への取り組み強化
・命を大切にする心の育成
・交流及び共同学習の充実
③協力する心の育成
・黙働清掃（服装・時間）の徹底
・歌声指導の充実
・主体的に取り組む心の育成
・校外学習を通した社会性の向上
（集団行動で身につける）

たくましい子
【健康・体力・精神力の育成】（達成感）

①基本的生活習慣の定着
・「早寝、早起き、朝ご飯」の推進
・「歯磨き」の推進
・保健に関する指導の充実
・食に関する指導の充実
②正課時体育の充実
・握力、投力向上に向けた取り組み
・ドリル走やラダーを取り入れた敏捷性を高める指導
・タブレットの活用
・体育カードの活用
③日常的な体力づくりの奨励
・外遊びの奨励
・根気強く取り組み「達成感」が得られる指導
・教え励まし合う場の設定

日々の指導を通し，保護者，地域から信頼される学校をつくる

経営の重点

安全・安心な学校
【児童の安全確保に努め，
隅々まで心のいき届いた環境づくり】

①徹底した安全点検と日常的な安全確保
・複数の目による定期的な安全点検と迅速な修繕
・安全管理に重点を置いた安全対策
（校外学習下見・予備実験の実施等）
②災害から身を守る環境の整備
・危機管理マニュアルの随時見直し
・臨機応変に対応可能な、日常的な実践的・実効性のある避難訓練の実施
③登下校の安全確保
・保護者や地域との連携
・安全マップの活用
④いじめを絶対に許さない風土づくり
・さくらっち集会（いじめ0集会）の実施
・規律ある中に温かさを感じる学級づくり
（道徳科の充実、教育相談　等）

高め合う教師集団
【指導の充実・改善に一丸となって
取り組む職員体制づくり】

①きめ細かな指導のための職員体制づくり
・効率的な組織づくり（校務分掌、各種委員会）
・企画委員会や学年研修の充実
・生徒指導体制，特別支援教育の体制の充実
②日々の授業改善と校内研修の充実
・教科担任制を見据えた交換授業と専科の導入
・算数科を主とした授業改善の推進
・経験層別研修（若年層、ﾐﾄﾞﾙﾘｰﾀﾞｰ教員）の充実
③ｶﾘｷｭﾗﾑﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄによる教育活動の改善
・PDCAｻｲｸﾙによる、より良い教育活動の創造
・学校評価の活用
・目標申告、職務能力開発ｼｰﾄを活用した人材育成
④ﾓﾗｰﾙｱｯﾌﾟと業務改善への取り組み
・モラールアップ委員会の定期的な開催
・総務主任設置による学級担任の負担軽減
・下校時刻を早めることによる事務処理時間の確保

地域や関係機関と歩む学校
【地域に開かれ，家庭・地域と共に
児童を育む学校体制づくり】

①授業、行事等の公開と迅速な連絡
・積極的な授業や行事の公開
・学校連絡メール、連絡帳の活用
・ホームページ、学校だよりの充実
②地区住民会議、地域施設、地域人材等の積極的な活用
・坂戸の森みどりの会との連携　・愛のﾊﾟﾄﾛｰﾙの実施
・市民会館、博物館、図書館、地域人材や団体との連携と活用
・学校支援ボランティア活動の充実
③各種教育機関、学童、福祉機関との連携
・相互授業参観、情報交換会の実施
・福祉部局、放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ事業所との情報交換
④家庭教育力の向上
・家庭学習の充実
・「学校から発信する家庭教育プログラム」の活用